



医療連携だより [アシスト]

ASSIST

2021.7
No.52

帝京大学医学部附属病院



contents

主任教授就任のご挨拶
主任教授就任のご挨拶
センター長就任のご挨拶
部長就任のご挨拶

救急科 主任教授 森村 尚登
脳神経外科 主任教授 辛 正廣
総合周産期母子医療センター センター長 笹森 幸文
内視鏡部 部長 小田島 慎也

主任教授就任のご挨拶 草分けの矜持と未来創生に向けて

帝京大学医学部附属病院 救急科 主任教授 森村 尚登

みなさん、こんにちは。2021年4月1日より救急医学講座主任教授ならびに救急科科長に就任いたしました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私たちが救急科はすべての診療科と連携しながら日々救急医療に従事しています。「急な病気やけが」の種類や原因によらず、来院する時間や手段によらず、年齢を問わず、すべての救急患者さんの診療にあたるのが救急医療です。急な病気やけがといっても、最初の症状が軽いものから重いものまで様々です。突然命や機能に関わる重たい症状を示している場合には、まさに時間との勝負です。直ちに「人、モノ、場所」を準備してチーム医療を駆使して対応しなければなりません。また、一見軽い症状でも「急速に」あるいは「突然」悪化する場合があります。それをいち早く察知して重症化を防がねばなりません。このような多彩な救急患者さんに対して、当院では3つのセンター（高度救命救急センター、総合診療ERセンター、外傷センター）から成る救急医療部門が一体となって、軽い「病気やけが」から重い「病気やけが」まで幅広く、そ

の「急ぎ具合」に応じて適時に、救急医療を提供しています。

救急医学講座初代主任教授の小林国男先生は、救命救急センターを母体として都内のみならず日本の草分けとして重症外傷診療体制の端緒を開き、二代目の坂本哲也先生は市民の皆さんや救急隊員、そしてすべての医療従事者を対象とした救急蘇生の標準化に尽力し全国の普及に大きく貢献してきました。その後を受けて、現行の3つのセンターならびに全科との連携を深め、医学的エビデンスに基づく救急診療を実践する「患者さん中心（Patient centered）」の体制強化に努めます。また現行の仕組みにドクターカーネットワークや Acute care surgery 体制、総合診療科との連携を視野に入れ「プレホスピタルから集中治療・再建に至るまで」の幅広い領域をカバーする体制を創り、日本の救急医療体制の雛形として国内外に発信していきたいと思っております。研究の専門分野は、「緊急度判定指標」や「診療の質評価指標」、マシギヤザリング・災害時の医療需給均衡指標、IOT



救急医療を支える5つのポジション

を駆使した救急医療情報共有・情報入力支援システム開発です。「救急医療はすべての診療科の協働による」という理念を医学生に涵養していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



帝京大学医学部附属病院 救急科 主任教授
森村 尚登 (もりむら なおと)

- 1986年 横浜市立大学医学部卒業
- 1988年 日本医科大学付属病院救命救急センター
- 1990年 横浜市立大学医学部附属浦舟病院救命救急センター
- 1997年 フランス院外救急医療支援組織(SAMU)パリ本部留学
- 2002年 国立横浜病院救命救急センター 副センター長
- 2003年 帝京大学医学部附属病院救命救急センター 講師
- 2007年 帝京大学医学部救急医学講座 准教授
- 2010年 横浜市立大学大学院医学研究科救急医学 主任教授
- 2016年 東京大学大学院医学系研究科救急医学 教授
- 2021年4月より現職

- 【所属学会・資格】
- 日本救急医学会
 - 救急科専門医・指導医・理事
 - 日本集中治療医学会 集中治療専門医
 - 日本外傷学会 外傷専門医・理事
 - 日本臨床救急医学会 理事
 - 日本災害医学会 理事
 - JATECインストラクター・ディレクター
 - 英国MIMMS GICインストラクター
 - 日本DMAT・統括DMAT登録者

主任教授就任のご挨拶

患者さんの体の負担を抑えつつ、最大限の治療効果を発揮する
低侵襲脳神経外科手術の実現に日々努力しています

帝京大学医学部附属病院 脳神経外科 主任教授 辛 正廣

2021年5月1日より、脳神経外科講座主任教授に就任いたしました辛 正廣（しんまさひろ）と申します。私が脳神経外科医を目指したきっかけは、私の祖父が脳の病気で他界しており、脳の病気で苦しむ患者さんの治療に、少しでも携わることができればと考えたことに始まります。大学を卒業して、脳神経外科医となることを志し、修行を開始した当時は、脳神経外科の手術を一日も早く修得して、一人前の外科医になりたいとばかり思っていました。しかし、ある時、ふと「外科医の技量やその時の調子によって患者さんの運命が決まってしまうのは、どうなのか」と考えるようになりました。こうして、先端医療技術を駆使することで、いかに難しい手術を“簡単”にできるようにし、手術成績のばらつきをなくすための研究に専念してきました。現在までに、私がたどり着いた最終的な答えは、脳腫瘍の分野では神経内視鏡による手術であり、また、脳血管障害の分野では血管内治療であります。

当院には、私がセンター長を務める、下垂体・内視鏡手術センターがあります。

下垂体腫瘍や頭蓋咽頭腫、髄膜腫などの頭蓋底腫瘍をはじめ、他院で治療が難しいとされる患者さんの治療に、これまで以上に積極的に取り組むことのできる体制が整っております。また、高度救命救急センターには、脳卒中をはじめとした救急対応を必要とする患者さんが多く来院されます。こうした脳血管障害の治療においても、当科には、血管内治療から開頭手術まで、一連の治療に習熟し、幅広い病態に対応できる脳神経外科医が揃っております。こうした、高い専門性を有した脳神経外科スタッフと共に、多職種でのチームワークを最大限に活用して、様々な脳神経疾患の治療に取り組んでいきたいと考えております。

これからも、治療を受ける患者さんの体の負担を抑え、一日も早い社会復帰を目指した“低侵襲脳神経外科”の実現を目指し、日々、診療と研究、さらに後進の教育に努めていく所存であります。引き続きのご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。



内視鏡下での頭蓋底腫瘍の手術



趣味は登山で、毎年、日本の百名山にチャレンジしています



帝京大学医学部附属病院 脳神経外科 主任教授
辛 正廣（しん まさひろ）

1994年 東京大学医学部卒業（学生時代はアメリカンフットボール部）

東京大学医学部附属病院脳神経外科入局
東京警察病院、亀田総合病院、東京都立神経病院、寺岡記念病院

1998年 東京大学医学部附属病院 脳神経外科 助教

2003年 フランス パリ大学病院に臨床医として留学

2004年 フランス原子力研究所 研究員

2008年 東京大学医学部附属病院 脳神経外科 講師

2021年 帝京大学医学部附属病院 脳神経外科 主任教授

【専門分野】

- ・下垂体腫瘍や頭蓋底腫瘍の内視鏡手術
- ・顕微鏡と内視鏡を駆使した脳腫瘍の手術
- ・小児脳神経外科の手術
- ・ガンマナイフなど定位放射線治療
- ・コンピュータグラフィックス画像による術前シミュレーションに関する研究

センター長就任のご挨拶 生命の誕生は奇跡の連続です！

総合周産期母子医療センター センター長 笹森 幸文

2021年4月1日より総合周産期母子医療センター長に就任しました笹森幸文(ささもり ゆきふみ)と申します。

当センターは東京都に14施設ある総合周産期母子医療センターのひとつです。母体・胎児集中治療室(M-FICU)を10床と新生児集中治療室(NICU)を12床、新生児回復期治療室(GCU)を24床備えており、NICU、小児外科、麻酔科、放射線科、救命救急科、内科などと連携しながら24時間体制で母子医療の最前線で高度な医療を提供することをめざしております。

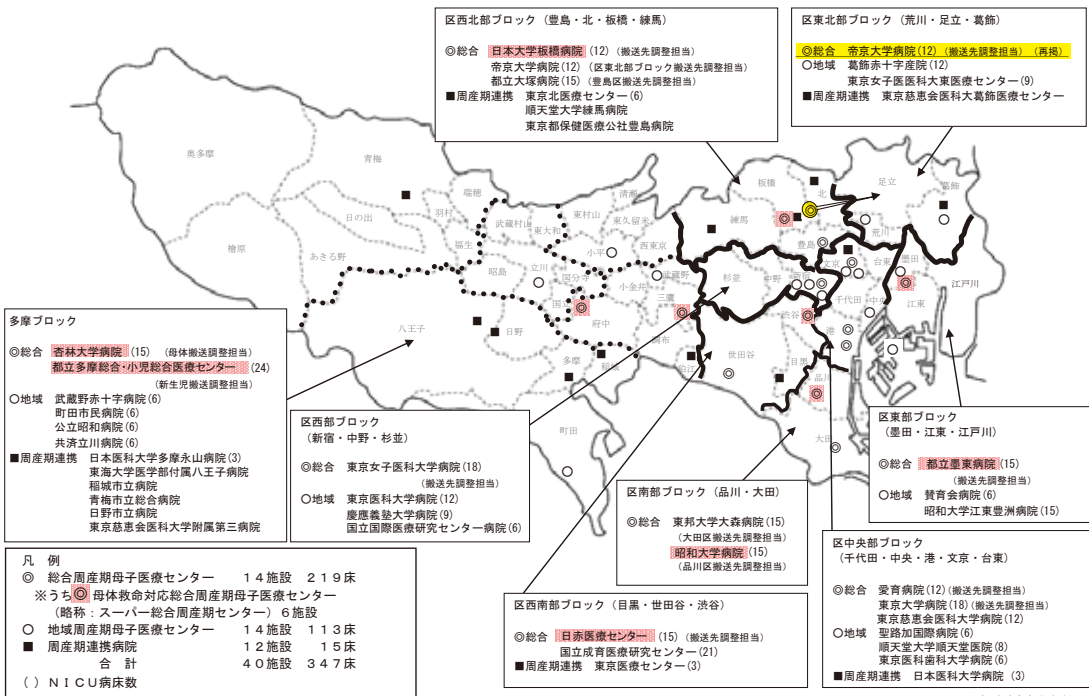
主な対象疾患は、産科では早産、前期破水、妊娠高血圧症候群、胎児発育不全、多胎妊娠、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、羊水過多・過少、妊娠糖尿病、母体合併症妊娠、胎児小児外科疾患、産褥出血などを、NICUでは早産児、低出生体重児、呼吸障害、新生児仮死などを当センターが管轄する区東北ブロック(荒川区、足立区、葛飾区)を中心に、近隣の板橋区、

北区、練馬区、豊島区などからも広く母体搬送や新生児搬送を受け入れています。

私自身は大学時代、臨床実習で分娩に立ち会い、涙が出るほど感動し産婦人科医になりました。最近では周産期センターを舞台にしたドラマや漫画によって母子医療が身近に感じられるようになりましたが、当時、日本では「お産はうまくいって当たり前」という時代で、周産期センターもほぼ存在しない状態でした。入局後は「帝王病院に周産期センター開設を！」を夢に頑張ってきました。そして1998年4月都内で4番目となる総合周産期母子医療センターとして認定されました。その後も医局から多くの病院へ出向させていただき研鑽を積んできました。

今後も地域の産婦人科施設と協力して母子医療の発展に貢献していきたいと考えております。ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

東京都周産期母子医療センター及び周産期連携病院の配置図(令和3年1月1日)



総合周産期母子医療センター センター長 笹森 幸文 (ささもり ゆきふみ)



- 1987年 帝京大学医学部卒業
帝京大学医学部産婦人科学講座 入局
- 1989年 練馬区医師会立光が丘総合病院
(現 練馬光が丘病院)産婦人科 医員
- 1991年 関東通信病院(現 NTT東日本関東病院)
産婦人科 医員
- 1993年 西新井病院 産婦人科 医長
- 1994年 賛育会病院 産婦人科 医員
- 1995年 帝京大学医学部 産婦人科学講座 助手
- 1996年 上尾中央総合病院 産婦人科 医長
- 1997年 赤心堂病院 産婦人科 部長
- 1998年 帝京大学医学部 産婦人科学講座 助手
- 2004年 瀬戸病院付属西所沢クリニック 院長
- 2009年 帝京大学医学部 産婦人科学講座 講師
- 2015年 帝京大学医学部 産婦人科学講座
病院准教授
- 2021年 4月1日より現職

部長就任のご挨拶

最適な医療を提供できる内視鏡診療体制を目指して

帝京大学医学部附属病院 内視鏡部 部長 小田島 慎也

2021年4月1日より内視鏡部長に就任致しました小田島 慎也（こだしま しんや）と申します。私は2017年10月に帝京大学医学部内科学講座に着任いたしました。以来、消化管（特に食道、胃、十二指腸、大腸）腫瘍の内視鏡診断・治療を専門として内視鏡診療に携わって参りました。

内視鏡は現在の医療には必要不可欠な検査・治療機器の一つとなっており、私が専門の消化管だけではなく、胆膵領域や耳鼻科領域、婦人科領域、歯科口腔科領域など様々な分野で行われている手技です。そのため内視鏡部では複数の科の医師が各科各々、時には複数の科で協力しながら検査・治療を行っています。

私が医師になってから約20年が経過しましたが、その間の内視鏡領域の進歩は非常に目覚ましく、内視鏡システムや周辺機器の開発に伴って新しい内視鏡診断法や治療技術などが次々に生まれています。その一方で機器の小型化に伴って極細径スコープの開発が行われるなど、より低侵襲な検査・治療へ向けた開発もされておられ、内視鏡機器の開発はハイスペツ

クな機器を用いた最新の内視鏡診断・治療へのベクトルだけでなく、低侵襲な内視鏡検査へ向けたベクトルに対しても行われています。

これから当内視鏡部を運営するにあたり目標としているところは、患者さんに最適な医療を提供できる環境を作ることにあります。そのためには大学病院の使命の一つである最新の診断学や治療技術を習得した各科医師の育成を内視鏡部門としてサポートし、各科同士横の繋がりを強めていける体制を作っていくことが必要かと思っています。またこれまで大学病院としては多少疎かにしていたように思われる受診者の苦痛を軽減できる内視鏡診療体制を作り上げることと同時に進めていきたいと思っています。

地域医療機関の先生方にも安心して紹介していただけるような、また患者さん自身にも安心して検査・治療を委ねていただけるような内視鏡部を作っていくたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



ESD施行時の様子(国外ライブデモンストレーションにて)



帝京大学医学部附属病院 内視鏡部 部長
小田島 慎也 (こだしま しんや)

2000年 北海道大学医学部卒業
2000年 東京大学医学部附属病院内科
2001年 関東中央病院内科
2002年 亀田総合病院消化器内科
2004年 東京大学医学部附属病院消化器内科医員
2008年 東京大学大学院医学系研究科修了
2010年 東京大学医学部附属病院検診部助教
2011年 東京大学医学部附属病院消化器内科助教

2017年 帝京大学医学部内科学講座 講師
2018年 帝京大学医学部内科学講座 准教授
2021年4月より
帝京大学医学部附属病院内視鏡部部長併任

【所属学会・資格】

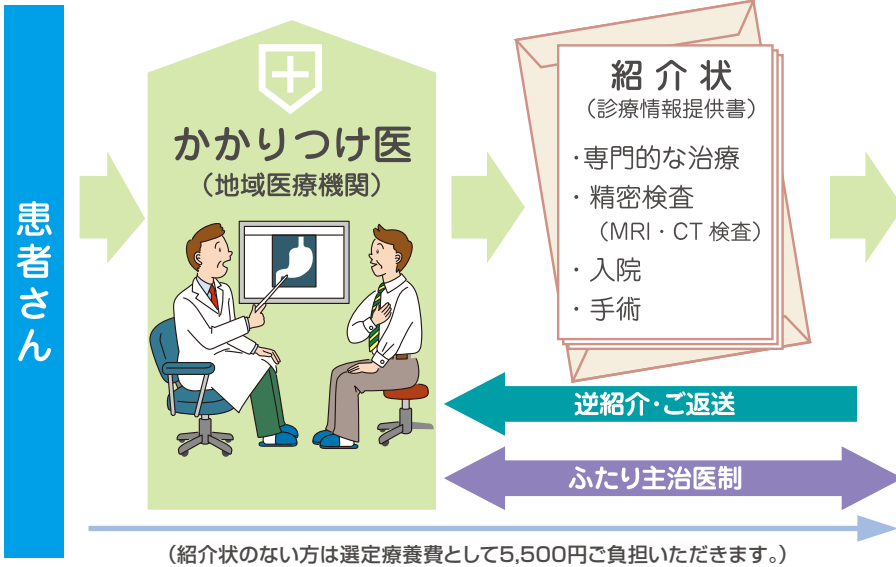
日本内科学会認定内科専門医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医

帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約*ができます。

※事前にお電話下さい

医療連携の流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



(紹介状のない方は選定療養費として5,500円で負担いただきます。)



帝京大学医学部附属病院
予約専用(医療連携室)
03-3964-1498

予約受付時間
平日 8:30~17:00
土曜日 8:30~12:30

初診受付

診療受付時間
平日 (予約あり) 8:30~14:30
(予約なし) 8:30~11:30
13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30

紹介状をお持ちの患者さん

- ① 予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。
電話予約の際にご確認させていただく項目
(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ② 予約完了
- ③ 当日は15分前までに初診受付までお越しください。

紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎ 初診受付
診療受付時間 平日 8:30~11:30/13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30
直接初診受付へお越しください。
※当日の診察状況によっては受診できない場合もございます。



上の地図は略図のため、実際の地形とは異なりますのでご注意ください。

- 1 JR埼京線 十条駅
 - 北口より徒歩約10分
 - 北口ロータリータクシー乗り場より約6分
- 2 都営三田線 板橋本町駅
 - A1出口より徒歩約13分
 - A1出口より約6分
- 3 JR埼京線 板橋駅
 - 西口①番のりばより
帝京大学病院経由、王子駅行き 乗522 (約8分)
 - 「帝京大学病院」バス停下車
西口より約9分
- 4 JR各線 赤羽駅
 - 東口⑤番のりばより
高円寺駅北口行き 乗31 (約11分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
 - 西口⑥番のりばより王子駅行き 乗50 (約14分)
 - 「上十条四丁目」バス停下車徒歩約5分
 - 西口より約12分
- 5 JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅
 - 北口⑥番のりばより
帝京大学病院経由、板橋駅行き 乗522 (約12分)
 - 「帝京大学病院」バス停下車
北口より約9分
- 6 JR各線・東京メトロ各線 池袋駅
 - 西口より約16分
- 7 東武東上線 上板橋駅
 - 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約13分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
- 8 東武東上線 ときわ台駅
 - 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約9分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
 - 北口より約12分

帝京大学医師会からのお知らせ

【産業医研修会について】

帝京大学医師会では、日本医師会認定産業医のための産業医研修会を毎年開催しております。帝京大学医学部附属病院で研修を受けながら、認定に必要な50単位を1年間で全て取得することが容易となりますので、是非ご参加ください。開催日程等の詳細は帝京大学医師会ホームページをご覧ください。

帝京大学医師会ホームページ

URL <http://www.med.teikyo-u.ac.jp/ishikai/workshop/>

▼詳細はこちら



※所要時間は日中平常時、最短時間の目安となっておりますので、時間帯や道路状況により異なります。

① タクシーをご利用の場合 ② バスをご利用の場合 ③ 徒歩の場合